



平成22年度

世界エイズデーについて



世界エイズデーとは

目的

世界的レベルでのエイズまん延の防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図る。

経緯等

▼1988年、WHO(世界保健機関)が12月1日を“World AIDS Day”(世界エイズデー)と定め、エイズに関する啓発活動等の実施を提唱

▼国連のエイズ対策の総合調整を行うこととなったUN AIDS(国連合同エイズ計画)もこの活動を継承。本年度で23回目を迎える。



今年度の世界エイズデーキャンペーンテーマ

12月1日は世界エイズデー



大切な人だからこそ考えて欲しい。

現在、日本では1日に約4人のHIV感染が報告されています。エイズは決して遠い問題ではないのです。正しい知識と理解が必要です。「自分には関係ない」なんて思わないで。愛する人を守るために、できることから始めていきましょう。

HIV（エイズウイルス）は、感染してから約10年かけてエイズ（免疫不全）を発症します。エイズは予防できます。正しい知識と理解が必要です。

エイズに関する電話相談 0120-177-812



厚生労働省・財団法人エイズ予防財団 エイズ予防情報ネット：<http://api-net.jfap.or.jp/>



続けよう

~Keep the promise, Keep your life~

- ① 仕事も生活も続けよう
- ② 抗レトロウイルス治療を続けよう
- ③ エイズの流行と闘う人達を支え続けよう
- ④ 予防と支援のメッセージを送り続けよう
- ⑤ ユニバーサルアクセスを目指し続けよう
- ⑥ 関心を持ち続けよう

▲平成22年度エイズ啓発ポスター